

広尾町ビーチボールバレールール

広尾町体育指導委員協議会

昭和55年 5月 制定

昭和55年10月 改訂

1. 競技者はチーム4名とし、6名まで登録することができる。
試合はビーチボールを使用し、4人対4人で行う。
2. コートはサイドライン13.40mとエンドライン6.10m（バドミントンコート）のそれぞれ2本の区画線で囲まれた長方形のものとし、ネットの高さはポストのところで1.80mとする。
3. ゲームは、1セット15点先取とし、両方14点のときはジュースで、その後2点を勝ち越すまでゲームを行う。（ラリーポイント制）
3セットマッチで2セット先取したほうが勝ちとなる。
4. サーブはバックライトの位置に来たものがサービスライン後方からアンダーハンドで相手コートに入れる。
サービスは1回とし、ネットにふれて相手コートに入ったときはもう一度やりなおすことができる。得点が続きかぎりサービスを続ける。
5. ローテーションのしかたは、サーブ権を得たときには直ちに時計の針と同じ方向に一つだけポジションを移動する。
6. 次のプレーは反則となり、相手の得点となる。
 - ①ドリブル：一度ボールにふれたプレーヤーが、続けてボールにふれたとき。ブロックをして、自コートネットにふれても、同プレーヤーがふれたとき。
 - ②オーバー：同一チーム内で4回以上プレーしたとき。
タイム ただし、ネットに3回目にふれた場合は、あと1回でかえすことができる。
 - ③オーバー：ネットを越えて相手ボールにふれた場合。
ネット ただし、ブロックを自コートで行い、反動で相手コートに手が出た場合はセーフとする。
 - ④タッチ：いかなる場合であってもネットにふれてはいけない。
ネット ただし、打ったボールがネットにふれ、その弾みで相手がネットにふれた場合はセーフとする。
 - ⑤アウトオブ：ボールがコートの外の床面や物体にふれたとき。
バウンズ ボールが2本のボールの間の想像延長線の外を通過したとき。
 - ⑥フォールト：サーブを打つ瞬間にサーブラインを踏みこえたとき。
 - ⑦フットボール：ボールをウェストより下の位置にあててプレーしたとき。
 - ⑧ホール：ボールをすくいあげたり、つかんだり、または運んだり明らかにボールを停止させないプレーをしたとき。
 - ⑨アウトオブ：サーブが打たれる際に、レシーバー側の前衛と後衛の前後及び左右の位置関係がポジション 違っているとき。

(コート図)

